



(写真①) 天乳池開発碑には、天明六年（1786）の年号があります
(写真②) 池の透明度を測るために、水をくんでいるところ
(写真③) 稲葉池がこんなふうになります（完成予想図）
(写真④) 加茂野の池のことを聞ききました

(中濃地域可茂農山村整備事務所)

(写真⑤) 藤吉由佳（右）、山田円香（左）

加茂野のため池調べ

文・写真／山田円香、藤吉由佳（加茂野小学校 4年）

私たちの住んでいる加茂野には、ため池がいくつあります。加茂野小学校のシンボルになっている天乳池をはじめ今泉池、木野池、三ツ池、葉池などです。私たちはひとりで、加茂野のため池についてもつと調べてみたいと思い、調査を始めました。

まず、市立図書館に行き、住宅地図と美濃加茂市史で、池の数、名称、いつ頃作られたのか、何のために作られたのかなどについて調べました。江戸時代に農業用水を確保するために作られたことや、加茂野村と鷹之巣村で水をめぐる争いがあったこともわかりました。ため池の水は命の水だったのです。また、加茂野だけでなく市内にはたくさんのため池が作られていました。長い歴史があることに驚きました。

次に、池の様子を調べるために現地調査をしました。池の周りの様子を観察し、道具を作り透明度も調べました。池の水をくんで見て、何センチくらいまで見えるのかを測定しました。結果は、0センチから20センチまでさまざまでした。一位が今泉池、一位が天乳池でした。きれいに整備されている池ときたない池があります。そこで、県中濃地域可茂農山村整備事務所と維持管理課という役所へ行つて取材することになりました。お話を聞いて、池の整備計画がたてられていることや住民にとってより住みやすい環境をつくることを真剣に考えていてくださいことがよく分かりました。

加茂野に住んでいたがら加茂野のことをまだ知らない私たちです。これからもいろいろなことを調べてみたいです。